| 学校番号 | 3037 |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | （学）生物演習 | 単位数 | １単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新課程　大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　生物基礎　（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 生物基礎（実教出版）、ニューステージ生物図表（浜島書店）、ニューグローバル生物基礎（東京書籍） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の復習を中心に、より深く生物基礎を学ぶ。発展的な内容も学習することで、身の回りで起こる生物現象についても理解することをめざす。１年次と同様に、どうしてそのような現象が起こるのか、ということを考えながら授業に取り組んでください。また、後半は問題演習を中心に授業を行います。そのため、必ず自分で復習する習慣を身につけてください。

## ２　学習の到達目標

【知識及び技能】１年次に学習した内容について理解を深める。実物を観察することで、イメージとともに各分野の知識を習得させる。さらに、問題演習を通じて細胞の構造や DNA、恒常性、バイオームなど、生物に関する様々な知識を獲得する。
【思考力、判断力、表現力等】考察問題に多く触れることで、習得した知識を利用して問題を解決していく力を育み、生徒個々の進路を実現するための思考力、判断力、表現力を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】生物分野の最新の知見についても学び、自ら考え行動することのできる姿勢の養成をめざす。また、継続的な学習意欲を持ち、問題演習を通じて、困難な概念や問題にも挑戦する姿勢を身につける。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。<br>生物や生命現象に関する観察、実験などの探究活動を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 | 生物や生命現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 | 生物や生命現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方、学ぶ態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 生物の特徴 | 生物の多様性と共通性<br>生物とエネルギー | a: 生物の特徴について理解し、正確な知識を身につけている。<br>b: 生物の特徴について考察し、考えを表現できる。<br>c: 生物の特徴に関心を示す。 | 観察・実験<br>定期考査 | 観察・実験<br>定期考査 | ノート<br>小テスト<br>実験・観察レポート |
| | 遺伝子とその働 | 遺伝情報とDNA<br>遺伝情報とタンパク質の合成 | a: 遺伝子とその働きについて理解し、正確な知識を身につけている。<br>b: 遺伝子とその働きについて考察し、考えを表現できる。<br>c: 遺伝子とその働きに関心を示す。 | | | |
| 2学期 | ヒトのからだの調節 | 体内環境<br>体内環境の維持のしくみ<br>免疫 | a: ヒトのからだの調節について理解し、正確な知識を身につけている。<br>b: ヒトのからだの調節について考察し、考えを表現できる。<br>c: ヒトのからだの調節に関心を示す。 | 観察・実験<br>定期考査 | 観察・実験<br>定期考査 | ノート<br>小テスト<br>実験・観察レポート |
| | 生物の多様性と生態系 | 植生と遷移<br>植生とバイオーム<br>生態系と生物の多様性<br>生態系のバランスと保全 | a: 生物の多様性と生態系について理解し、正確な知識を身につけている。<br>b: 生物の多様性と生態系について考察し、考えを表現できる。<br>c: 生物の多様性と生態系に関心を示す。 | | | |
| | 生物基礎演習 | 生物の総合的な学習 | a:これまでに学んだ知識を活用して生物にまつわる課題を解決する力を身につける。<br>b:生物にまつわる問題・課題を既習の知識を用いて考察し、表現できる。疑問を解決するための実験・観察を考え、実施することができる。<br>c:最新の知見や問題に対して関心を示す。 | | | |
| 3学期 | 生物基礎演習 | 生物の総合的な学習 | | 観察・実験 | 観察・実験 | ノート<br>小テスト<br>実験・観察レポート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度